

2018年度 静岡県私学教育振興会 初等教育専門部会 県外研修報告 (2018/07/07)

(報告者) 東海大学付属静岡翔洋小学校

校長 小寺 建仁

教諭 木村 友紀

1. 日時 2018年6月28日(木)29日(金)
2. 研修地 6月28日 13:30~16:00 近畿大学附属小学校
631-0032 奈良県奈良市あやめ池北 1-33-3
6月29日 9:30~12:00 関西大学初等部
569-1098 大阪府高槻市白梅町7番1号
13:30~15:45 洛南高等学校附属小学校
617-0002 京都府向日市寺戸町寺田 54番地
3. 内容 学校訪問(教育の特色等紹介・授業参観・施設見学)
4. 参加者 静岡サレジオ小学校 校長 末吉 弘治
加藤学園暁秀初等学校 副校長 佐藤 誠一
常葉大学教育学部附属橘小学校 校長 勝俣 元雅
東海大学付属静岡翔洋小学校 校長 小寺 建仁(部会長)
東海大学付属静岡翔洋小学校 教諭 木村 友紀(副部会長)

5. 研修報告

[6月28日・木]

研修地①: 近畿大学附属小学校

【沿革】

- 1954(昭29) 創立
2010(平22) あやめ池キャンパス(あやめ池遊園地跡地)に移転(1学年4クラス編成)
2015(平27) 運動場に人工芝を敷設
2018(平30) 開校65年目

【特色】

※森田哲(校長)先生・下釜誠頭(教頭)先生より学校説明(教育方針、特色等)を受ける。

- i. 建学の精神である「実学教育」「人格の陶冶」の基、校訓を「人に愛される人」「信頼される人」「尊敬される人」とし、教育の三大方針として「智・徳・体」を掲げている。
- ii. 学園の初等教育機関は高校が7校、中等部6校、幼稚園2園で、小学校は1校である。
- iii. 1学年4クラス、1クラス30人とし、現在24クラス約700人の児童が在籍。
- iv. 4・5年生の希望者でイギリスのオックスフォードで行われる「英語サマースクール(約100か国)」に参加している。



v. 上級学校への進学率は50%、後は他の私立へ、公立は0%であった。

vi. 近畿大学との交流・連携授業を多く取り入れている。

例) 医学部と連携し医療現場を体験、法学部と連携し模擬裁判を体験、農学部と連携し食農教育を展開、水泳の授業でオリンピックメダリスト(山本選手)による直接指導 等

【授業参観】

i. 5時間目 6年(30名)「算数」場所:6年梅組

テーマ「ローマ数字について考察し、その特徴や仕組みに気づき十進位取り記数法のよさに気づく」

【施設見学】

i. 校舎は最寄駅である「菖蒲池(近鉄電車)」降りて約5分の場所にある。

ii. 運動場が人工芝(2015)



iii. 廊下、階段、教室の壁等木材(紀州材)が使われており、構造的に温かさを感じ、落ち着きが生まれる環境ということに工夫が見られた。

iv. 敷地は元「あやめ池遊園地」であったため、当時の歩道橋が附属幼稚園と小学校との渡り廊下として残されている。

v. 学舎(宿泊学習)や学童保育の場所として畳を敷き詰めた和室の教室(1つ)がある。

vi. アリーナはバスケットボールコート2面がとれ、約1200名が収納できる広さである。

vii. 体育館の2階部分に小アリーナを設けており、雨天時の体育や学年ごとの集会、学習発表の場や保護者集会等で利活用している。



[6月29日・金]

研修地②: 関西大学初等部 (訪問当日が一日授業参観日のため写真撮影は不可となる)

【沿革】

2010(平22) 創立

2018(平3) 開校9年目

【特色】

*田中達也(校長)先生より学校説明(教育方針、特色等)を受ける。

i. 大学の教育理念である「学の実化(じつげ)」の精神を基盤として、小中高12年の一貫教育を実践。

- ii. 校訓を「考動（こうどう）ー学びを深め志を高くー」とし、「考える子」「感性豊かな子」「挑戦する子」を目指すこども像としている。
- iii. 1 学年 2 クラス、1 クラス 30 人編成で、12 年間の一貫教育プログラム（小中高）を基本としている。
- iv. 開校当初より思考力育成を教育の柱とし、「考え方を考える」**ミューズ学習**に取り組んでいる。
※「ミューズ」の語源・・・この地域がミューズ地区と呼ばれていたこと、また MUSE の意味は学問の女神の事をさすということからこのネーミングとしたとの事。

【授業参観】

- i. 2 時間目 6 年（30 名）「理科」場所：理科室
テーマ「水を入れた紙コップをガスバーナーで加熱すると中の水を沸騰させることが出来るか？」
- ii. 3 時間目 6 年（30 名）「ミューズ学習（担任による授業）」場所：6-2 教室
※「ミューズ学習」・・・思考スキル（考えるための技法）を習得することをねらいとする学習。
自分の頭の中を整理し、友達の考えや自分の考えを相互に理解し合える伝達道具としてシンキングツール（思考ツール）を思考スキルと対応させ、思考力の育成を目指す学習。

【施設見学】

- i. 校舎は最寄駅である「高槻（JR）」降りて約 10 分の場所にある。
- ii. 各学年 2 クラス編成のなか、各教室の間に広いスペースが設けられており、休憩時間等における児童同士のコミュニケーションの場として最適な環境づくりを感じた。
- iii. 各 HR 教室には電子黒板が設置されており、また校内には PC や iPad 等 300 台（4 年生以上は個人所有）の用意があり ICT 教育の推進が図られていた。
- iv. 図書室（ライブラリー）の設計が 2 部屋体制（はてな館・わくわく館）となっており、高度な利便性とともに関心に関する興味関心を高める工夫がなされていた。

研修地③：洛南高等学校附属小学校

【沿革】

- 2014（平 26） 創立
- 2018（平 30） 開校 5 年目

【特色】

- ※余根田聡（校長）先生より学校説明（教育方針、特色等）を受ける。
- i. 洛南高等学校のはじまりは今から約 1200 年前、空海弘法大師が庶民のための教育の場として創られた日本最初の私立学校「綜藝種智院（しゅげいしゅちいん）」にさかのぼる。そして 1962 年（昭 37）に洛南高等学校、1985 年（昭 60）に附属中学校、2014 年（平 26）に長岡京跡・北東部に附属小学校を創設し、昨年初めての 6 年生を卒業させた。
- ii. 1 学年 90 名、30 人の 3 クラス編成で、現在は 510 名の児童が在籍している。
- iii. 今年 1 年生は 150 名の受験生がおり、93 名の在籍となっている。
- iv. 時間割の特徴としては、朝の 8：20～8：50 を「空の時間」とし、昼休み後の 13：50～14：05 を「海の時間」としており、読書やテスト学習、また学級活動の時間を設けている。
- v. 昼休みの時間を 90 分と長くとっている。（給食は約 40%程度、あとは各自弁当）

- vi. 2 学期始業式前の 4 日間は夏期学習会とし通常の授業を行っている。またこの授業の出欠は授業時数に入る。
- vii. 小中高 12 年間の一貫教育を基本としており、昨年 6 年生は全員附属中等部へ進学した。
- viii. 英語教育には力を入れており、リスニングは 6 年生の約 80%が中学レベルに達している。
- ix. 英語力の確認として TOEFL Primary を採用している。
- x. 仏教的情操の醸成を目的として、御影供（みえいく）や花まつりなどの宗教行事を行うとともに、専科の先生が道徳を担当し、仏教的情操を育む授業を行っている。

【授業参観】

なし

【施設見学】

- i. 校舎は最寄駅である「桂川（JR）」降りて約 10 分の場所にある。
- ii. 廊下、階段等木材使用であり、天窓が用意されており自然の光が差し込み、明るく温かな校舎の雰囲気を作られている。
- iii. 1 階中央スペースを広くとっており、教員ステーションや自習スペースとして利用できる設計である。



- iv. 体育館は 2018 年度に冷暖房工事がなされるとの事。また天窓があり明るさを保ち、さらに体育館内に男女トイレがあり、小学生の活動として工夫がなされた設計である。



- v. 各教室の前に手洗い場（蛇口 3 つ）が設けられている。

6. 研修を終えて

今回の研修地は関西方面ということで、6 月 18 日（月）7：58 に大阪府北部を震源として発生した地震後の対応等、児童・教職員の不安や心労が残る中、視察校には快く学校訪問を受け入れていただいたとともに、各校の校長先生はじめ各先生方から丁寧かつ熱心に対応いただいたことに対し、感謝に堪えない気持ちで無事県外研修を終えることができました。

今後、今回の県外研修から学んだ、視察校における教育目標、教育内容及び実践、また各校の工夫された施設、教育機器等を教職員にフィードバックし、本校の教育力向上につなげたいと考えます。